

学生ボランティアによる地域社会への貢献による  
経済効果分析に関する報告書

平成29年8月

明治国際医療大学

## 1. 地域連携

本学は平成 25 年 11 月に南丹市と『大学と行政が協働するまちづくり』を目指し、相互の知的・人的・物的資源の交流・活用を図ることを目的とした包括協定を締結したことをはじめ、本学および本学学生が地域に対し医療や市民の健康づくりに役立てるよう、様々な取り組みを実施している。

## 2. 目的

大学公認クラブの「アスレチック・トレーナー部」では、地域連携活動として主にスポーツ大会等へのボランティアとして、出場選手の試合前後のコンディショニングを整えとともに、大会運営の一役を担うことを目的として活動をしている。

今回、部員がボランティアスタッフとして参加したトライアスロン大会による、地域貢献による経済効果を分析・報告する。

## 3. 参加大会概要

- ・名称 第3回京都丹波トライアスロン大会 in 南丹
- ・主催 京都府、南丹広域振興局、該当市町および教育委員会等から構成された京都丹波トライアスロン大会実行委員会
- ・開催日 平成 29 年 8 月 27 日（日）
- ・場所 桂川（大堰川緑地公園）及び周辺地域
- ・URL [http://kyoto-triathlon.jp/race\\_info/](http://kyoto-triathlon.jp/race_info/)

## 4. 活動概要および参加人数

- ・活動時間 6:00～14:00
- ・参加人数 10 人
- ・活動内容 コンディショニングケアブースを設置し、選手の試合前後のコンディショニングおよび大会運営補助

## 5. 経済効果

本大会にボランティアスタッフとして参加した学生は 10 名であった。一般的なコンディショニングスタッフとして主催者が雇い入れた際の手当てとして時給 1,000 円を費用試算した場合、80,000 円を地域に貢献できたと考える。

## 【活動報告書】

団 体 名	明治国際医療大学 アスレチック・トレーナー部
事業の名称	第3回京都丹波トライアスロン大会 in 南丹 スポーツケア
実施概要	<p>日時：平成29年8月27日（日） 6：00～14：00</p> <p>参加人数：10人</p> <p>6：00 集合・会場準備（テント・ケアベッド設営等） 活動内容PR（広報）・会場ゴミ広い 等</p> <p>9：00 スポーツケア 開始</p> <p>14：00 終了（会場撤去）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手の疲労回復に繋がるケアが出来た。</li> <li>・多くの選手に携わることができ、個人のスキルアップが出来た。</li> <li>・個人個人に合わせたケアができ、ケアを受けた選手に満足いただけた。</li> <li>・スポーツ選手、大会運営スタッフとのコミュニケーション （地域の方々との交流が図れた）</li> <li>・大学での活動を地域の方々に認知してもらえるきっかけとなった。</li> </ul>
課題および 反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール付近でのケアブースであれば、もう少し選手に活動を知ってもらえたと思える。</li> <li>・全ての大会参加者にブースでの活動内容を周知できなかった。（アフターケアの利用者は多かったが、ウォームアップの利用者数は少なかった。）事前に大会HP等で、活動内容のPRが出来れば、利用者数を増やすことが出来たと思える。</li> </ul>